



(発行) いわき市 都市復興推進課

『薄磯地区まちづくりワークショップ』を開催しました!

『第2回 toU通信』でご案内しましたとおり、1/12(土)に薄磯区・薄磯復興協議委員会が主体となった『第1回薄磯地区まちづくりワークショップ』を開催しました。

ワークショップは、『薄磯の今後のまちづくり』をテーマに計3回開催する予定で、1回目は『薄磯地区で実現したい暮らしとは?』について地区の皆様へ検討して頂きました。検討した内容について、以下(P3~)のとおり報告いたします。

ワークショップ: ある特定のテーマについてアイデアを出し合い意見交換する集まりで、会議の一種です。『薄磯地区まちづくりワークショップ』では、参加者(字毎に主催者側が数名程度選定し、参加要請しました。)を3つのグループに分けて、グループ毎に議論をして頂きました。

ワークショップの目的

1. 住民が主役の復興まちづくり

震災復興土地区画整理事業は、行政が道路、防災緑地等の公共施設整備を行うこととなりますが、建築物の整備、人の定住、人・モノの交流促進は、地区の皆様や地域の事業者へ委ねられることとなります。そのため、住民の方々が主役となって復興まちづくりを進めていくことが重要となります。

2. まちづくりの方向性を関係者間で共有

薄磯地区の復興を早期に成し遂げるために、地区の皆様、福島県、いわき市が土地利用の在り方について共通認識を持つ事が重要です。

3. 皆さまからのご意見を復興まちづくりに展開

薄磯地区にふさわしい、復興まちづくりを展開していくためには、地権者をはじめとする地区の皆様のご意見を把握することが重要です。

第1回
ワークショップ

第2回
ワークショップ

第3回
ワークショップ

土地利用計画
(案) 策定

ワークショップで頂いたご意見を踏まえて、薄磯地区の土地利用計画(案)を策定します。

その案を基に今後の復興まちづくりに展開していきます。

薄磯地区
復興まちづくり

ワークショップのスケジュール

項目	テーマ及び検討内容
第1回ワークショップ 平成25年1月12日(土) (午後6時～午後8時) (いわきニュータウンビル4F)	「薄磯地区で実現したい暮らしとは？」 <ul style="list-style-type: none"> 薄磯地区のキャッチフレーズは？ 薄磯地区の残したいもの、良い所(魅力)、再生したいもの、欲しい施設は？
第2回ワークショップ 平成25年2月2日(土) (午後6時～午後8時30分(予定)) (いわきニュータウンビル4F)	「薄磯地区の将来の姿をイメージしてみよう！」 <ul style="list-style-type: none"> 地区内をゾーニングしてみよう！ 各ゾーン(住宅・商業・業務・教育・観光)のまちづくりの考え方は？
第3回ワークショップ 平成25年2月16日(土) (午後6時～午後8時30分(予定)) (いわきニュータウンビル4F)	「薄磯地区の将来の姿のとりまとめと実現に向けて」 <ul style="list-style-type: none"> 土地利用計画(案)が、自分達が考える姿になっているか確認しよう！ 自分達でやるべきこと、やりたことは？その際に必要な支援は？

ワークショップの風景



ワークショップ全体



各グループに分かれて検討している様子



各グループに分かれて検討している様子



発表の様子

■ テーマ毎に出された意見(1班)

○基本となる考え方(キャッチフレーズ)

- ・海と山に囲まれたコンパクトなまち ・世界に類を見ないまち ・電柱がないまち
- ・観光資源(海水浴場)を活かしたまち ・繋がりを新しく作れるまち
- ・道路などに樹木を植えて、街並みが緑豊かなまち
- ・まちの核となる40、50代の人たちの活力を活かし、また住みたくなるまち

○残したい・再現したい、新たに作り出したい暮らし

安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・避難場所として集会所を高台の中央部に整備して欲しい。 ・避難場所には1週間分の食料や水を備蓄し、停電に備えた電気の確保が必要である。 ・公園は、平場からの避難路として活用するため、緩傾斜で登りやすいようにして欲しい。 ・県道小名浜四倉線への安全な避難路を確保して欲しい。 ・高齢者の避難手段を考える必要がある。
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・隣組や絆を大事にしたい。 ・薄磯公民館がコミュニティの核となる施設である。 ・中高年が集まる場所もあると良い。
観光・集客	<ul style="list-style-type: none"> ・海水浴場、塩屋埼灯台、ひばりロードを活かして人を集める。 ・餓鬼堂横穴群を活用し、展示、観光出来るようにしてはどうか。 ・海の貝焼きのようなB級グルメを創る。 ・体協主催の行事を行う。
震災の記憶 ・語り継ぐこと	<ul style="list-style-type: none"> ・豊間中学校にピアノや震災時の写真等の現存する資料を集め、郷土資料館として残したい。 ・津波慰霊碑を設置したい。

○街の考え方・新しい街において配置したいもの

道路	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内から県道小名浜四倉線までの道路を新設、強化して欲しい。 ・海岸沿いの道路をサンシャインマラソンのコースにする。 ・サイクリングロードは、ネットワークを重視して整備する。
水路	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨でも安心な水路にして欲しい。
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地の街区(高台・平場)の中に子供の遊び場を配置する。 ・桜等を植えて憩いの公園にする。 ・公園と古峯農商神社は一体的に整備する。 ・平場から避難する際、どこからでも登れるようにする。
防災緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・ジョギングコース、サイクリングコースを整備して欲しい。 ・海を眺められる場所が欲しい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・海岸道路をドライブする際、楽しめるような緑地にして欲しい。
高台地区の土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・高台は歩道にも植樹し、緑豊かな住宅団地にして欲しい。 ・住宅の敷地規模は、現在考えている規模より大きくして欲しい。
駐車場等	<ul style="list-style-type: none"> ・海水浴場の設備として、駐車場やトイレを整備する。 ・修徳院に駐車場が欲しい。
バス路線	<ul style="list-style-type: none"> ・バス路線は、災害公営住宅から高台を通るコースで通して欲しい。
公民館・集会所	<ul style="list-style-type: none"> ・豊間中学校を公民館として活用できないか。 ・集会所は避難場所に指定し、高台の中央部に整備して欲しい。
災害公営住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・災害公営住宅は、浸水しない住宅地にして欲しい。 ・災害公営住宅の情報をもっと提供して欲しい。
まちづくりのルール	<ul style="list-style-type: none"> ・隣組を大切にしたい換地設計をお願いする。 ・換地のルールづくりが重要と思う。

■ テーマ毎に出された意見(2班)

○基本となる考え方(キャッチフレーズ)

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・安心して戻れる。 ・早く戻れるように。 |
|---|

○残したい・再現したい、新たに作り出したい暮らし

暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・震災前は、日常の暮らしと仕事場が近くにあるまちだった。女性は地区内のかまぼこ工場で働く人が多かった。 ・安心して戻って来られるまちであって欲しい。
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・薄井神社、古峯農商神社、金倉稻荷神社、忠霊公園、丸又蒲鉾の駐車場に避難した。 ・小学校からの避難路は、滑るので登りにくい。階段や手すりを付けた方が良い。 ・暗いので街灯が必要だ。街灯はソーラー発電にしてはどうか。 ・電源が落ちても自家発電により電気が来る施設が地区内に1つあってもいい。そうすれば、被災時に地区の人が集まる事が出来る。 ・海岸堤防や防災緑地が整備されることで、海水浴場からの避難経路があるのか不安だ。永崎の海岸のように何処からでも避難出来るようにして欲しい。(緩傾斜堤) ・震災前の防災無線は、はっきりと聞こえなかった。 ・中学校周辺に住んでいるが、雨戸を閉めると防災無線が聞こえない。 ・震災時に防災無線が機能しなかった。新たに整備する際は、防災無線が機能するように対策を取ってほしい。
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・薄磯は顔が判るまちで、話した事が無い人でもどの辺の人だか判る。高台移転の際には、字単位等のコミュニティのまとまりを固持せず、何となく混ざっている感じが良いのではないかと。

	<ul style="list-style-type: none"> ・高台移転の際は、既存のコミュニティを全く無視してバラバラにするのではなく、ある程度のまとまりを持ちつつも、混ざっているような感覚が良いのではないか。
震災の記憶 ・語り継ぐこと	<ul style="list-style-type: none"> ・津波被害を伝えるため、豊間中学校の建物を残したいと思っているが、反対する人もいるだろう。

○街の考え方・新しい街において配置したいもの

道路	<ul style="list-style-type: none"> ・高台の街区は一つ一つが大きく感じる。自動車が通れる幅員5m程度の道路を整備し、小さい街区にしてはどうか。
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・公園は地区の中央にあり、皆が集まる場所だと考えている。見晴らしも良いはずだ。 ・新しく出来る公園では、四季の花を楽しめるよう、さるすべり、ひまわり、きんもくせいの低木（花木）を植えて欲しい。 ・地区内に公園が無いので今までは中学校の校庭などで遊んでいた。子供が遊べる屋根がある施設（体育館のような）が欲しい。
防災緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・防災緑地に遊歩道を整備し、散歩が出来る環境であって欲しい。 ・防災緑地は地区にとってまちから見える大きな構造物でもあるので、景観に配慮して欲しい。
バス路線	<ul style="list-style-type: none"> ・高台に多くの人が移転するため、バスルートが平地にしか通らないと不便を感じる。整備後は高台の大通りを通して欲しい。
公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館は皆が集まる場所だから、高台に建てるべきだ。 ・道路が寸断されない場所、新道路に抜けられる場所に新たな公民館を建てて欲しい。
商業・工業	<ul style="list-style-type: none"> ・震災前の薄磯は、商業、工業、住宅が混ざって点在していた。今度は、商業や工場がある程度まとまって立地して欲しい。 ・商業は、地区内のお客だけでは、経営が成り立たないのではないかと心配だ。 ・商業は昔の公民館の辺りや県道沿いの一角に集まって立地すると、観光客も立ち寄れて経営も成り立つのではないか。 ・震災前は、車に乗って地区外のスーパーまで買い物に行っていた。 ・煙草を買うにも車に乗ってコンビニまで行くのは大変なので、スーパー（コンビニ）やちょっとした買物が出来る店、喫茶店が欲しい。
医療施設	<ul style="list-style-type: none"> ・病院は送迎バスが迎えに来てくれるから、地区内に無くても大丈夫だと感じている。
まちづくりのルール	<ul style="list-style-type: none"> ・家の塀はブロック塀ではなく、生垣とする事を最初から取り決めておきたい。 ・震災時、地区内のブロック塀が倒れ避難するのに苦労した。今後はブロック塀ではなく生垣にしたい。強く規制するようにしたい。 ・建物を建てる際のルールが必要だ。一から建物などを建て直すので、良好な住環境となるように決めておけば良いのではないか。

■ テーマ毎に出された意見(3班)

○基本となる考え方(キャッチフレーズ)

- ・ 非常時に孤立しないまち。 ・ 地域の中で生活が完結する(まかなえる)まち。
- ・ オーシャンビュー薄磯。 ・ のんびりした感じ、風情。

○残したい・再現したい、新たに作り出したい暮らし

暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の中で、買物、病院、学校・教育が出来るようにし、生活が完結出来るまちづくりを行う。 ・ 中高年が集まれる場所もあると良い。 ・ 海が眺められる場を活かしたい。
安心・安全	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校で一晩過ごし孤立したので孤立しないようする。 ・ 集会所は避難所になるので高台に欲しい。 ・ 普段は子供が遊べる広場として整備し、非常時は車で避難できる駐車スペースが欲しい。 ・ 何か所も避難出来る場所が欲しい。 ・ 車が渋滞して逃げられない。道路の整備にかかっている。 ・ 歩きや車が複数の方法で避難出来るようにする。 ・ 非常時には、歩道や軒先も含め広く道が使えるようにする。 ・ 諏訪川や弁天川に関係なく避難出来るようにする。 ・ 屋根からの落下物で道路は塞がったので道路は広くする。 ・ 避難路には電気(街灯)も必要だ。 ・ 避難所が小学校とは知らなかったので案内看板等を設置する。 ・ 情報が寸断されないように、防災無線(ラジオが入らない)を設置して欲しい。 ・ 案内看板の字が、今見えにくいので、今後は大きく書くこと。 ・ 防災を含め誘導サインの整備をする。 ・ 観光客が迷子になることが多いので案内(灯台等)が必要だ。 ・ 人を集めるための足の確保は必要だ。 ・ 沿岸に鉄道を延伸して欲しい。
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狭い道路(危ないけど)があり、路地の感じでのご近所が交流(広い方が良いが、路地にあった雰囲気)出来るようにする。 ・ 畑での声掛け、野菜づくりが出来る。
観光・集客	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四倉～小名浜間に観光拠点が無いので、薄磯に拠点を設けたい。 ・ 自然、海、鳴き砂、塩屋埼灯台、オーシャンビューを観光拠点として活かし、人を呼び込みたい。 ・ サンシャインマラソンは海沿いの道路を通るようにする。
震災の記憶 ・ 語り継ぐこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今すぐではないが、どこかに慰霊碑を設置する。

○街の考え方・新しい街において配置したいもの

道路	<ul style="list-style-type: none"> ・地区が孤立しないよう中央台に通じる道路が欲しい。 ・非常時に孤立しないよう複数方向に道路を配置する。 ・広い道路が安全のためには必要である。 ・道路（歩車、色分けなど）は、段差が無く安全なものを整備する。 ・バリアフリーが確保された道路にする。 ・道路は袋小路にならないようにする。 ・狭い道路（危ないけど）路地の雰囲気もあると良い。 ・新しいメインの道路には名前を付ける。
公園	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが遊べる公園が欲しい。 ・バーベキュースペースが欲しい。 ・球技大会の練習できる公園が欲しい。
防災緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・防災緑地は、キャンプ、バーベキュー等が出来るよう有効活用したい。 ・あずまや、散策路を設けられないか。 ・商業地と連携する場所としたい。
バス路線	<ul style="list-style-type: none"> ・高台へも周って欲しい。 ・どこでも手を挙げれば停まってくれるバスが良い。
公民館・集会所	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館・集会所には、遊べる広場を設置する。 ・避難所にもなるよう高台の設置がよい。
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・商業エリアを決めたい。 ・モールのような賑わいゾーン。 ・コンビニが欲しい。
医療施設	<ul style="list-style-type: none"> ・移転した高齢者が都会から戻ってくるよう病院があると良い。 ・雇用も生まれる福祉施設、老人福祉施設が欲しい。
まちづくりのルール	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック塀を使わない（防災面、景観面）。 ・生垣とかのルール、景観ルールが必要である。 ・家の外観にある程度の統一感が欲しい。条例等も。

おわりに

今回のワークショップでは、このような活発な意見を頂きました。今後とも皆様のご協力をよろしくお願い致します。

お問い合わせ先

いわき市 都市建設部都市復興推進課 市街地整備係
(市役所6階)

TEL 0246-22-1138/FAX 0246-22-7567